



「介護予防・生活支援拠点」の取り組みを紹介します！

○「介護予防・生活支援拠点」とは

高齢者の多様な通いの場や、見守りや安否確認などの生活支援の活動拠点が市内4か所に開設されました。

平成29年3月より、各拠点において特色を生かした活動を展開しています。

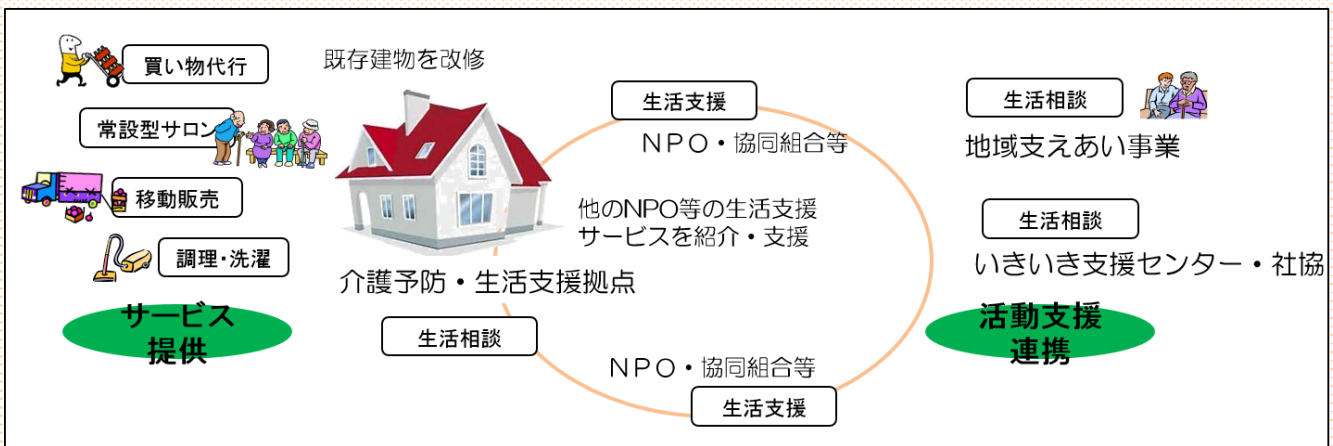
○活動内容

① 生活相談

② 大規模・常設型サロン
(25人以上、週3回以上) 及び
び担い手の育成

③ 生活支援サービス、コーディネート及び見守り

※①～③は必須要件とし、その他新たな生活支援サービスの提案や認知症カフェの実施、新たなNPOの立ち上げ支援等も可とする。



※それぞれの拠点の具体的な活動については裏面にご紹介しています。

平成29年度の『なごやか地域福祉2015』ワーキンググループについて

5月25日に今年度第1回目のワーキンググループを開催しました。今年度は年3回程度開催する予定です。次年度から次期計画の策定準備に取りかかるため、取り組むべき事項について、今年度に一定の結論を出し、残された課題等についても整理をしていく予定です。



公式ホームページでは、計画の推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2015

検索



市内4つの拠点において特色のある運営を行っています!



北

花カフェ

【特定非営利活動法人 ノッポの会】

～気軽に立ち寄れるモーニングで地域の拠点に～
花カフェは週3回モーニング付サロンを開催しています。常設のカフェのイメージもあり、ふらっと気軽に立ち寄れる居場所として地域の方が利用されています。かしこまった場所には行きづらい方も利用しやすいのが特徴です。映画会は立ち見が出るほど賑わいます。

運営にあたっては、自治会、なごやかクラブ、民生委員等に周知の協力をいただくほか、逆に地域のイベント協力や施設開放する等地域との協力体制を築いています。



(尾上町 1-2 尾上団地 1階 電話: 508-6080)

北

ハローステーション

【特定非営利活動法人 かくれんぼ】

～切れ目のない介護予防の場づくりを～
ハローステーションは、サロンやミニデイ型通所サービスを通じて切れ目のない介護予防の場づくりに力を入れています。今後は理学療法士も常駐し、更なる介護予防の拠点化を進める予定です。お互い様の地域づくりや子ども食堂や引きこもり相談など、多様なニーズに応えるため幅広く活動しています。

地域の方が困った時に、なんでも気軽に相談ができる場所として、継続性と地域とのふれあいを大切にした運営を目指しています。



(中丸町 3-22 電話: 918-7410)

熱田

杜の仲間たち熱田

【特定非営利活動法人 介護サービスさくら】

～共生型サロンで異世代交流から生活相談まで～
杜の仲間たち熱田では、週3回のサロンや定期的なイベント等を実施しています。サロンは共生型として、子育て中の親子から高齢者まで幅広い世代が集まります。口コミや積極的な呼び込みで今では多くの方で賑わっています。

また、スタッフは地域のボランティアの方々で、ケアマネジャーや保育士等、専門的な知識を持っている方が多いのも特徴です。月1回の生活相談の場以外でも、気軽に相談ができ、生活上の困りごと等がキャッチできます。



(六野 2-6 神宮東パークハイ 16号1階 電話: 788-2390)

南

おたがいさまの家「みなあん」

【南医療生活協同組合】

～地域とともに歩む場所を目指して～
おたがいさまの家「みなあん」は、住民が主体となってお互いに支えあうまちづくりを目指してサロンや子どもの広場、生活相談などに幅広く取り組んでいます。

開設にあたっては、地域への丁寧な説明周りのほか町内会長さんや民生委員さんなどと度々ワークショップを重ねながら、地域の皆さんと一緒に進めてきました。毎週水曜日のかなめ式健康体操では、集まった地域の方がわきあいあいと体を動かしています。



(三吉町 6-25 電話: 619-5320)

【編集・発行】 名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367